

情報公開文書

臨床研究のお知らせ

当院において 2000 年 1 月 1 日から 2018 年 12 月 31 日に前立腺癌に対し放射線治療を施行され、かつ当院で初診時前立腺生検を施行された患者様へのお知らせです。

当科では下記の研究を行っております。

1. 研究課題名：

前立腺癌放射線治療症例における intraductal carcinoma of prostate (IDC-P) に関する遡及的解析

2. 研究の目的：

前立腺癌への放射線治療後の予後・治療結果において、IDC-P という病理組織の有無が与える影響を明らかにすることを目的としています。

3. 研究期間：

2019 年 3 月 13 日 ～ 2024 年 3 月 12 日（5 年間）

4. 研究の方法：

当院にて前立腺癌に対し前立腺生検および放射線治療を受けられた患者さんを対象とし、放射線治療前に施行された病理検体の再評価を行い、治療成績を後ろ向きに調査します。なお、他院で前立腺生検を行われた方は本研究の対象としておりません。なお、本研究は愛知医科大学病院病理診断科と共同で他施設共同研究として行います。

本研究は、京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院医の倫理委員会の承認および、研究機関の長の許可のもと実施されています。

5. 研究の拒否：

本研究の対象とならないことを希望される際には、当科に連絡いただければ調査の対象から除外させていただきます。

6. 試料・情報の利用目的・利用方法・項目：

患者情報、疾患情報（理学所見、画像所見、TNM 病期、病理所見、腫瘍マーカー [prostate-specific antigen] など）、治療情報（放射線治療に関する情報（照射線量、

回数、照射範囲など)、ホルモン治療に関する情報(レジメン内容、開始日/終了日))、治療後の画像検査、血液検査データ、急性期・晩期有害事象情報等、病理組織の再評価などの試料・情報を後ろ向きに取得いたします。本研究において得た試料・情報は、当該研究のみに使用します。本研究終了後のデータを、本研究外の別の研究に二次利用する場合、京都大学大学院医学研究科・医学部および医学部附属病院医の倫理委員会に申請し承認を得た後に実施いたします。

研究対象者又はその代理人の求めがある場合、それに応じて研究対象者が識別される試料・情報の利用又は他の研究機関への提供を停止致します。

試料情報等管理責任者：溝脇 尚志 (下記、研究代表者)

7. 研究資金・利益相反

この研究は、運営費交付金（教育研究費）により実施します。利益相反については、「京都大学利益相反ポリシー」「京都大学利益相反マネジメント規程」に従い、「京都大学臨床研究利益相反審査委員会」において適切に審査・管理しています。

8. 研究成果発表：

学会等や誌上での報告を行います。個人名や個人情報が公表されることはありません。

9. 問い合わせ先：

本研究に関するお問い合わせ(個人情報及び知的財産の保護に支障ない範囲での研究資料など含む)は、下記までご連絡ください。

研究代表者・事務局：

京都大学医学部附属病院 放射線治療科

溝脇 尚志

電話：075-751-3762、FAX：075-771-9749

京都大学の相談窓口：

京都大学医学部附属病院 相談支援センター

電話：075-751-4748

E-mail：ctsodan@kuhp.kyoto-u.ac.jp